

# 日本地衣学会 No.172

## ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

### 目次

会務報告	675
日本地衣学会評議員会（メール会議：2023年3月20日-4月11日）	
議事録／坂田 歩美	675
日本地衣学会評議員会（メール会議：2023年4月12日-4月21日）	
議事録／坂田 歩美	676
日本地衣学会評議員会（メール会議：2023年7月9日-7月14日）	
議事録／坂田 歩美	677
日本地衣学会評議員会（2023年7月15日，東京）議事録	
／坂田 歩美	677
会員通信	680
スカンディアモス？／原田 浩	680
お知らせ	681
事務局からのお知らせ／坂田 歩美	681

### 会務報告 *Reports of the JSL Activities*

#### 日本地衣学会評議員会（メール会議：2023年3月20日-4月11日）議事録

*Report of the JSL Councilors' Meeting on E-mail, 20 March – 11 April 2023 / by SAKATA Ayumi*

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開催日：2023（令和5）年3月20日（月）～4月11日（火）

参加者（敬称省略）：（議長）原光二郎，（評議員）原田浩，中嶋裕之，小杉真貴子，坂東誠，川又明德，清水公徳，（会長）木下薫，（庶務幹事）坂田歩美，（会計幹事）小杉真貴子，（編集委員長）綿貴攻

\* \* \*

今年度の大会の開催に関して，評議員会で審議が行われました。今年度の大会の開催地や開催責任者などは，以下のように決定しました。追加議題として，会費納入時に発生する振込手数料について審議しました。

#### 今年度の大会の開催について

・開催地：東京理科大学 葛飾キャンパス（東京都

葛飾区)

- ・開催責任者：清水公徳氏
- ・開催日：2023年7月15日(土)～16日(日)
- ・一般講演は対面とし、評議員会・総会などはオンラインまたは対面とする。

追加議題の会費振込手数料については以下のように

決まりました。会費振込手数料については今後、会員負担とすることを明記・周知する。また、事務局内ではこれを覚書等で引き継ぐ。手違いで振込手数料を負担することなく(振込手数料を学会側負担で)会費を既に支払ってしまった会員に対しては振込手数料の追加支払いをお願いすることとし、最終的には学会で予算処理を行う。

---

## 日本地衣学会評議員会(メール会議：2023年4月12日-4月21日)議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting on E-mail, 12-21 April 2023 / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開催日：2023(令和5)年4月12日(水)～4月21日(金)

参加者(敬称省略)：(議長)原光二郎，(評議員)原田浩，中嶋裕之，小杉真貴子，坂東誠，川又明徳，清水公徳，(会長)木下薫，(庶務幹事)坂田歩美，(会計幹事)小杉真貴子，(編集委員長)綿貴攻

\* \* \*

昨年度の事務局(一般事務)と今年度の事務局(会計事務)の変更，会計幹事と評議員の兼任状態の解消に関して，評議員会で審議が行われ，以下のように承認されました。会則の「学会事務局についての内規」にはその設置機関の住所を会則に記すことになっているため，改訂案の通り，内規を改定しました。会則第11条により，評議員と会計幹事とは兼任できず，兼任状態を解消する必要があるため，小杉真貴子評議員の会計幹事への就任に伴い，評議員の任を解くことといたしました。

\* \* \*

「学会事務局についての内規」の改訂案

(2) 事務局を下記次の場所に置く。

・事務局(一般事務)

〒830-8555

千葉県千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館 生態学・環境研究科

・事務局(会計事務)

〒444-0867

愛知県岡崎市明大寺町西郷中38

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

基礎生物学研究所 環境光生物学研究部門

(3) この内規は評議員会において過半数の同意を得て改定できる。

附則

2023年4月30日改正

## 日本地衣学会評議員会（メール会議：2023年7月9日-7月14日）議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting on E-mail, 9-14 July 2023 / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開催日：2023（令和5）年7月9日（日）～7月14日（金）

参加者（敬称省略）：（議長）原光二郎，（評議員）原田浩，中嶋裕之，坂東誠，川又明德，（会長）木下薫，（庶務幹事）坂田歩美，（会計幹事）小杉真貴子，（編集委員長）綿貫攻

\* \* \*

今年度の事業計画案（+予算案），クレジット決済による会費などの支払い受付，Lichenology バックナンバー，来年度以降の大会，観察会，次期会長及び評議員選挙に関して，評議員会で審議が行われました。

## 日本地衣学会評議員会（2023年7月15日，東京）議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting at Tokyo, 15 July 2023 / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開催日：2023（令和5）年7月15日（土）

開催地：東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）  
参加者（敬称省略）：（議長）原光二郎，（評議員）原田浩，中嶋裕之，坂東誠（委任状），清水公德（委任状），（会長）木下薫，（庶務幹事）坂田歩美，（会計幹事）小杉真貴子，（編集委員長）綿貫攻

\* \* \*

2023年7月9日（日）～14日（金）に開催された評議員会で審議した今年度の事業計画案（+予算案）などが以下の通り承認されました。

### I. 2022年度事業報告

1. 会員数は、2022年12月31日現在170名（一般113，学生14，海外一般25，海外学生7，有功1，団体2，名誉8）で前年度末より1名減少した。
2. 以下の報告が承認された。

### （1）主催大会，観察会

- ①日本地衣学会第21回大会：川又明德氏（愛媛県総合科学博物館）を大会委員長として，愛媛県総合科学博物館（新居浜市）にてオンラインで2022年12月10日～12月11日に開催された（参加者28名，講演等：一般講演11題，総会終了後，oViceを用いてオンライン交流会を開催）。
- ②第21回学会主催観察会：コロナウィルス感染症（COVID-19）の流行状況を考慮の上，中止とした。

### （2）総会

日本地衣学会第21回大会総会を2022年12月10日，オンライン形式で開催した。2022年6月20日～12月10日に開催された評議員会（メール会議）と12月10日オンラインで開催された評議員会での報告事項，審議事項，承認事

項などについて報告した。

### (3) 学会誌等の発行

①学会誌 Lichenology：第 20 巻 1 号（2022 年 6 月 30 日発行），2 号（2022 年 11 月 10 日発行）

②日本地衣学会ニュースレター：163 号（2022 年 2 月 10 日），164 号（3 月 1 日），165 号（3 月 22 日），166 号（5 月 11 日），167 号（9 月 19 日）を発行，それぞれホームページで公開。

### (4) 委員会の活動

#### ①地域活性化委員会：

- ・第 45 回青空地衣教室：コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上，中止した。
- ・第 16 回秋田ワークショップ：コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上，中止した。

#### ②学術交流委員会：

- ・自然史学会連合：2022 年 12 月 4 日，総会開催。坂田歩美氏が出席した。昨年度と来年度の分担金 40,000 円を支払った。なお，今年度は分担金を徴収しないこととなっている。
- ・日本分類学会連合：2022 年 1 月，総会とシンポジウム開催。原田浩氏（会長代理）と坂田歩美氏が出席した。分担金 10,000 円を支払った。
- ・日本菌学会対応：2022 年 8 月 22 日（月）～26 日（金）に第 66 回大会がオンラインで開催された。
- ・その他：植物学会についての対応は引き続き事務局で検討。

③ホームページ運営委員会：学会誌・ニュースレターなどの過去および未掲載の情報を学会 HP

内に掲載し，常に最新情報を会員に提供できるように努めた。

④国際学会対応委員会：担当を検討中。

⑤日本の地衣フロア解明プロジェクト：図鑑改定の一環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し，チェックリストの改定作業を進めた。ウェブ図鑑は，千葉県立中央博物館のデジタルミュージアムのコンテンツとして「日本の地衣類（ウェブ図鑑）」等をアップした。学会 HP 内で試験公開を始めた「日本産地衣類の DNA バーコーディングのためのデータベース」について，更なる整備を進めた。

## II. 2022 年度決算報告・監査報告

報告は承認された。

## III. 入・退会承認

入会および退会者について承認された。

## IV. 2023 年度事業計画

### 1. 主催大会，観察会

(1) 日本地衣学会第 22 回大会：清水公德氏（東京理科大学）を大会委員長として，2023 年 7 月 15 日～16 日に東京理科大学葛飾キャンパスにて開催。

(2) 第 22 回学会主催観察会：開催しない。

### 2. 印刷物発行

(1) 学会誌 Lichenology：第 21 巻 1 号（2023 年 3 月 31 日発行），2 号（2023 年 7 月 15 日発行），第 22 巻 1・2 号（2023 年 12 月発行予定）。

(2) 日本地衣学会ニュースレター：168 号（2023 年 2 月 27 日），169 号（3 月 23 日），170

号(5月11日), 171号(6月8日)を発行,  
それぞれホームページで公開。次号以降はホーム  
ページで逐次公開を予定。

### 3. 委員会(各委員長)

#### (1) 地域活性化委員会

- ・第46回青空地衣教室:開催を検討中。
- ・第16回秋田ワークショップ(秋田県立大学)  
:開催を検討中。

#### (2) 学術交流委員会

- ・自然史学会連合:2023年6月4日,総会開  
催。坂田歩美氏が出席。今年度分は昨年度支払  
い済み。
- ・日本分類学会連合:2023年1月16日,総会  
とシンポジウム開催。木下薫会長・坂田歩美氏  
が出席。
- ・日本菌学会:2023年5月27日(土)~28  
日(日)に第67回大会がハイブリッド形式で  
熊本県民交流会館パレアにて開催され,2023  
年9月30日(土)~10月1日(日)に秋田県  
乳頭温泉郷で菌類観察会(秋田フォーレ)が開  
催される。
- ・その他:植物学会についての対応は引き続き事  
務局で検討。

(3) ホームページ運営委員会:学会誌・ニュースレ  
ターなどの過去および未掲載の情報を学会 HP  
内に掲載し,常に最新情報を会員に提供できるよ  
うに努める。

(4) 国際学会対応委員会:担当を検討中。

(5) 日本の地衣フロア解明プロジェクト:図鑑改定  
の一環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し,  
チェックリストの改定作業を進める。ウェブ図鑑  
は,千葉県立中央博物館のデジタルミュージアム  
のコンテンツとして「日本の地衣類(ウェブ図鑑)」

等を2022年にアップしたのに引き続き,「地  
衣成分」を2023年にアップし,これらを更に  
充実していく。「日本産地衣類のDNAバーコー  
ディングのためのデータベース」の学会HP内  
における本格運用を始めており,更に整備を進めて  
いく。

### 4. 学会運営等

#### (1) 会員数

- ・2022年12月10日:170名  
(一般113,学生14,海外一般25,海外学  
生7,有功1,団体2,名誉8)
- ・2023年6月12日現在:171名  
(一般112,学生16,海外一般25,海外学  
生7,有功1,団体2,名誉8)

### V. 2023年度予算案

本予算案は承認された。

### VI. 審議事項

#### 1. 各委員会等の課題等について(各委員長等)

(1) 日本地衣学会会則の一部変更を伴う銀行登録に  
ついて

昨年度の事務局(一般事務)と今年度の事務局  
(会計事務)の変更に伴い「日本地衣学会会則」  
の変更した。さらに,銀行登録を変更した。

(2) クレジット決済による会費などの支払い受付に  
ついて

年会費, Lichenology バックナンバー購入など  
を目的として海外からの送金がある。現在,海外  
からの銀行振り込みが困難なケースが多発して  
いるので,学会・研究室・セミナー向けクレジッ  
トカード決済「学会 PAY」を導入することを検  
討する。今後,国内会員においても従来の支払い

方法（現金振込や振替など）に加え、クレジット支払いを導入し、支払い金額に手数料を上乗せする。

#### 学会 PAY の特徴

初期費用・月額費用	0円
売上処理料	0円
決済手数料	3.5%（一般会員の年会費だと140円）

#### (3) Lichenology バックナンバーについて

バックナンバーの保管場所確保が難しくなっている。一定部数を事務局に残して、バックナンバーを5巻1セットに合冊製本して半額にて会員限定で販売する。第一段として、1～5巻10冊セットを限定15組、送料込み15,000円で販売する。金額については、将来的に変更がある可能性がある。販売案内をニュースレターとホームページに掲載する。

#### 2. 来年度以降の大会、観察会について

##### (1) 日本地衣学会第23回大会について

開催時期を2024年11月頃とし、九州保健福祉大学（宮崎県延岡市）あるいは基礎生物学研究所（愛知県岡崎市）で開催することを検討中。

大会が年度末になるため、総会は大会と切り離して、ウェブで2024年2月か3月に実施する予定。

##### (2) 学会主催観察会・青空地衣教室について

今年度の学会主催観察会（第22回学会主催観察会）は開催中止としたが、来年度から再開することを検討している。青空地衣教室については2023年11月末に開催することを検討中。

#### 3. 次期会長及び評議員選挙について

##### (1) 選挙管理委員会の設置

選挙管理委員会の設置を準備中。

##### (2) Google フォームの導入

送付・開票作業に多大な労力が係るので、ウェブ上から投票できるだけでなく集計機能を備えた Google フォームを利用して選挙を行うことも検討する。Google フォーム利用に備えて「評議員選出についての内規」と「役員等の選出についての細則」の「郵送投票」を「郵送あるいは電子投票システム（Google フォームなど）」と変更した。

## 会員通信 From Members

---

### スカンディアモス？

*What is Scandiamoss? / by HARADA Hiroshi*

今日、某放送局から質問があった。「スカンディアモス」についてだった。聞いたことがない名前だが、どうもミヤマハナゴケのことらしい。そこでネットで調べてみたところ、日本語のサイトもあったので覗いてみた。

>>>>>>> 原田 浩：千葉県立中央博物館

それは、ずっと以前なら「ライケン」の名で鉄道のミニチュア模型のジオラマに使われ、近年では「フィンランドモス」あるいは「アイスランドモス」の名でフラワーアレンジメントに使われていたのと同様のもので、ミヤマハナゴケに着色などを施した販売品で

あった。使用例としてフラワーアレンジメントのようなものも示されていたが、それ以上に大きく取り上げていたのは四角い木枠に着色したスカンディアモスを詰めて壁につけたり、スカンディアモスをアルミかコルクの板に張り付けたパネルをインテリアに使う例であった。このため、欧州基準の耐火性能テストや、建築基準法におけるホルムアルデヒドの放散量の低さを謳っていた。

また「スカンディアモス (Scandiamoss)」は、商品名であり社名にもなっているようで日本にあったサイト「scandiamoss.jp」は 2023 年 2 月 28 日に閉

鎖されたようだ。Google で「scandiamoss」と検索しても、英語のサイトがほとんど出てこないのが不自然だった。やっと見つけたアメリカの DIY のサイトらしいものを調べると、本社は韓国にあるらしいことがわかった。従来の「ライケン」や「フィンランドモス」「アイスランドモス」と差別化するために、新たな名称を付けたのだろう。なお、スカンディアというのは、Wikipedia によるとスカンディナビアの古い名前のことである。

(2023 年 5 月 26 日記)

## お知らせ *News and Announcements*

---

### 事務局からのお知らせ

*From Secretary of the Society / by SAKATA Ayumi*

#### Lichenology バックナンバー合冊製本会員 限定販売のご案内

この度、会員限定で日本地衣学会誌 Lichenology バックナンバー合冊製本を割引価格で販売することとなりました。第一弾として Lichenology 1 巻から 5 巻 10 冊 (製本) を送料込み 15,000 円で 15 セット販売いたします。長年保管していたこともあり、若干の焼けや折れなどありますことご了承ください。6 巻以降も合冊販売することを検討しています。購入希望の方は、庶務幹事の坂田歩美に 2023 年 8 月 31 日までにお申込みください。

なお、申込み期限の変更などがあった場合には電子メール (日本地衣学会メーリングリスト) などを用いてお知らせいたします。

>>>>>>> 坂田 歩美 : 庶務幹事

\* \* \*

問合せ・申込み先

日本地衣学会事務局 庶務幹事 坂田歩美

TEL : 043-265-3111

E-mail : a\_sakata@chiba-muse.or.jp

\* \* \*

振込口座

郵便振替口座 : 10160-73106941

(普通 : 〇一八店 7310694)

加入者名 : 日本地衣学会

---

## ◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：  
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

## ●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.  
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

## ●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).  
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.  
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 172, pp. 675-682: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 8 Aug. 2023.

---

## 日本地衣学会ニュースレター172号

発行日：2023年8月8日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2  
千葉県立中央博物館内

---

---

©2023日本地衣学会 (© 2023 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。